

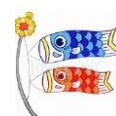
学校だより

5月号

港区立白金小学校

発行人 吉野 達雄

令和四年四月二十八日



白金スタンダードが支える落ち着きある学校、そして愛のある学校

校長 吉野 達雄

満開の桜でスタートした令和四年度。今は新緑の木々が子供たちを見守っています。

本校には白金スタンダードという学習や生活のきまりを示したものがありません。これを大人も子供たちもしっかり守ることで、規律や節度のある落ち着いた学校生活を送ることができています。一つのよい姿ですが、全校集会の際に子供たちは誰ひとり話をせず物音も立てずに校庭に集合します。とても七百人超の子供たちがいるとは思えません。話を聞く姿勢も立派で、私の問いかけにも静かに答えてくれます。

私は担任としての学級をもっていないので、子供たちと接する機会は多くありません。ですから子供たちとの少しの関わりで感動し、嬉しくなります。休み時間に子供たちが一生懸命に作った折り紙をもってきてくれたり、お手紙や絵をかいてくれたりすると心が温かくなります。「校長先生、英語が苦手なんですよね」と声をかけられ、教室で学んだ英語のフレーズを覚えてくれたり、英語クイズを出してくれたりと、ちょっとした関わりにも喜びを感じました。また、六年生から「鬼ごっこしませんか」と誘われたのは驚きであり、喜びでもありました。六年生と一緒に走り回る勇気はありませんでしたが、少し体を鍛え体力をつけて、次回の誘いには応えたいと思います。このように白金の子供たちは本当に優しいです。愛があふれている素敵な学校です。

「学習や生活のきまり」というと、人の自由を制限するもののように捉えられがちです。しかし多くの人が共に過ごす学校では、どのように過ごすかが明確になっていることが、自身の行動の指針となりますし、他者を助け支える基盤となります。白金スタンダードを大切にして、誰もが気持ちよく過ごし、互いを思いやる愛があふれる学校にしていきたいです。

【わんぱく相撲大会に挑戦してみませんか】

日本の国技である「相撲」は、土俵から押し出したり、相手を倒したりするなど、単純なものと考えられがちですが、実は頭を使う、奥の深いスポーツです。体の大きさや力強さだけでなく、柔軟性や敏捷性、巧みな動き、そして駆け引きが大切です。五月十五日(日)にわんぱく相撲大会が赤坂アークヒルズで開催されます(先日、全児童にお知らせを配布しました)。各家庭からの申し込みになりますのでぜひ積極的に参加してください。私も子供たちの活躍を応援に行きます。

特別活動について

特別活動主任 忍田 雄治

「特別活動」では、集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、様々な資質・能力を育成していきます。活動内容は大きく四つ分けられます。

- ①学級活動
- ②委員会活動
- ③クラブ活動
- ④学校行事

「学級活動」は各学級において、学級会での話し合い活動や係活動などを発達段階に合わせて設定していきます。

「委員会活動」は九つの委員会に分かれ、高学年の児童が協力し、学校生活の充実と向上を図るために、計画を立て役割を分担して活動していきます。

「クラブ活動」は、四・五・六年生の児童が協力し、共通の興味・関心を追求する集団活動の計画を立てて運営していきます。今年度は新しくダンスクラブも加わりました。

「学校行事」は、全校または学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深めていきます。例えば、始業式や終業式といった儀式的な行事や健康安全・体育的行事である「運動会」などが挙げられます。

そして、来月から六年生を中心とした異学年交流活動である「プラチナタイム」が始まります。また、普段から積み上げてきた学習活動の成果を発表する「学習発表会」も予定されています。児童一人一人が達成感や満足感をもって主体的に「特別活動」に取り組めるように、全力で指導していきます。